

# 大会日程

## センターニュースからひもとく “子どもにとって必要なこと” ①

センター60年の歴史において、先人たちが考えていた“子どもにとって必要なこと”とはなんだったのでしょうか。当時刊行されたセンターニュースを役員が独自の視点で読み解き発表いたします。

秋山 朋也 (成城学園初等学校)  
内海 園恵 (桐蔭学園小学部)

## 対談

### 「イノベーション×働き方×日本的感性」

村田 博信氏 (東京藝術大学 社会連携センター特任研究員 / 一般社団法人海外留学協議会 プロジェクトマネジャー)  
× 瀬崎 真也 (アートセラピスト 医療法人梨香会秋元病院)

戦略系コンサルティング会社にて企業の経営戦略策定および新規事業創出に携わり、Googleをはじめとするシリコンバレー事情にも精通している村田氏。イノベーションを起こす“デザイン思考の重要性”を説く氏の若い世代に伝えたいことはなんでしょうか。「イノベーション」「働き方」「日本的感性」をキーワードに、新しい価値を創造し続けることの核心について、アートセラピスト瀬崎真也との対談を通して迫っていきます。イノベーションをおこす秘訣に関するワークショップも開催予定。全世代必聴の対談です。

## 造形ワークショップ

講師 Aokid氏 (Danceable artist)

東京造形大学映画専攻出身  
第12回1\_WALLグラフィックス展グランプリ受賞、2009年EPSON COLOR IMAGING CONTEST佳作、2008年 EPSON COLOR IMAGING CONTESTグラフィック部門特選  
あらゆる表現媒体をミックスした独自の世界観を持つAokid氏のワークショップを体感しながら価値の創造について考えます。

## 7月29日 (土)

- 10:00 会員受付
- 10:30 一般受付
- 11:00 開会式  
委員長挨拶  
東京造形大学学長挨拶  
基調提案 石賀 直之
- 11:30 センターニュースからひもとく  
“子どもにとって必要なこと” ①

## 12:00 昼食 (会員総会)

## 13:30 対談

### 「イノベーション×働き方×日本的感性」

村田 博信氏 (東京藝術大学 社会連携センター特任研究員 一般社団法人海外留学協議会 プロジェクトマネジャー)  
× 瀬崎 真也 (医療法人梨香会秋元病院)

× 瀬崎 真也 (医療法人梨香会秋元病院)

## 15:45 造形ワークショップ

講師 Aokid氏 (Danceable artist)

## 17:15 鑑賞会及び記念撮影

## 17:30 懇親会

東京造形大学 CS-PLAZA

## 7月30日 (日)

- 9:00 受付
- 9:15 アイスブレイクワークショップ
- 9:30 センターニュースからひもとく  
“子どもにとって必要なこと” ②
- 10:30 グループセッション  
「子どもたちにとって必要なこと  
+ 私たちに必要なこと」

## 閉会式

## 13:00 解散

## アイスブレイクワークショップ

見方が変われば考え方も変わる！  
ワークショップを通して思考の柔軟性を高めましょう。  
大橋 里沙子 (中央大学附属中学校高等学校)

## センターニュースからひもとく “子どもにとって必要なこと” ②

金田一 康 (足立区立中川小学校)  
吉田 浩 (東京都立世田谷総合高等学校)  
椎橋 元貴 (白百合女子大学)

## グループセッション

### 「今、子どもたちにとって必要なこと + 私たちに必要なこと」

司会 桐山 卓也 (東京学芸大学附属竹早小学校)

今、子どもたちにとって必要なことは何か、を探る研究の最終局面を迎えました。ここでは“子どもたち”から“子どもたちと関わる私たち”にスポットを当て、私たちがどのようにすべきかということについてグループ別にディスカッションしながら考えていきます。ゲストとして今期のセンターに登壇して下さった講師の方々に、VTRや中継で参加していただきながら、“私たちに必要なこと”についてより深い対話をしていきます。



## 参加費

会員：3,000円 一般：4,000円 学生：2,000円  
懇親会 4,000円

## 交通案内

### 東京造形大学

〒192-0992 東京都八王子市宇津貫町1556番地  
JR横浜線相原駅より徒歩約15分

スクールバスまたはタクシーをご利用ください。(所要時間5分)

## 大会参加お申し込み・お問い合わせ先

### ◇宿泊について

宿泊に関する受付は行っておりません。ご予約等参加者ご本人でお願いいたします。

### ◇お申し込み先

申込み用紙をHPよりダウンロードしていただき、ご記入の上郵送またはFAXにて下記へお申込みください。

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早小学校  
造形教育センター 事務局長 桐山卓也 FAX 03-3816-8605

### ◇お問い合わせ先

\*大会についてのお問い合わせは、造形教育センター  
事務局長 桐山 卓也宛に下記のメールアドレスにて  
お送りください。

E-mail: zokutyou2001@mac.com

### ◇その他

最新の情報は造形教育センター公式HPをご覧ください。

URL: <http://zoukeikyouikucenter.hustle.ne.jp/index.html>

302期(2016年9月~2017年8月)

## 造形教育センター役員

山田 猛 (東京学芸大学附属竹早中学校)  
石賀 直之 (東京造形大学)  
杉坂 洋嗣 (静岡県田方郡函南町立東中学校)  
井田 善之 (横浜市教育委員会)  
永縄 啓太 (横浜国立大学附属横浜小学校)  
瀬崎 真也 (アートセラピスト・医療法人梨香会 秋元病院)  
椎橋 元貴 (白百合女子大学)  
桐山 卓也 (東京学芸大学附属竹早小学校)

桐山 瞭子 (お茶の水女子大学附属中学校)  
内海 園恵 (桐蔭学園小学部)  
秋山 朋也 (成城学園初等学校)  
金田一 康 (足立区立中川小学校)  
橋本 正裕 (成城学園初等学校)  
押山 勇斗 (町田市立藤の台小学校)  
守屋 建 (東京学芸大学附属小金井小学校)  
吉田 浩 (東京都立世田谷総合高等学校)  
大橋 里沙子 (中央大学附属中学校高等学校)

各学校長・園長様  
造形・図画工作・美術科担当様  
デザイン・美術関係者様

造形教育センター委員長 山田 猛  
研究部長 石賀 直之

## 第62回 造形教育センター 夏の研究大会

2017.

7/29 土 11:00~17:30  
7/30 日 9:15~13:00

## 東京造形大学

「今、子どもたちに必要なこと」というにはどこか「昔は十分〇〇があったのに、今の子どもたちには〇〇が足りない」という懐古的文脈が不可避的に含まれます。今期前半の研究は〇〇の中に当てはまるものはなにかを探る目的で、〇〇を見つけつつさらに足らしめるよう活動されているあらゆる業種の方々をお招きして参りました。

しかしながら、様々なゲストとの対話の中で見えてきたものは、“子どもたちに必要なことを本質的に見つけるには、私たち自身の価値観の転換が必要である”ということでした。夏の研究大会では、これまでのゲストとの対話の中で得られた「私たち自身の価値観の転換とは何か」を明らかにしていきながら、その核心に迫るべく体験的に深めていきます。これは皆さんと共に考える一つの冒険、です。大勢のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお祈りいたします。

今、子どもたちに必要なこと

